

第4回 小千谷市立小中学校の在り方検討委員会 会議録

日 時：令和7年5月23日（金） 午後2：00～4：30

場 所：東山小学校 ふれあいルーム

出席者：15人

遠藤英和委員 船岡芳英委員 関昌子委員 鈴木進五委員 山崎勝之委員
菊地亜弥子委員 大西洋子委員 渡邊類委員 森本恵理子委員 渡邊久美子委員
佐藤正機委員 木原宏幸委員 関麻紀委員 佐藤正敏委員 和田慶太委員

事務局：5人

小林管理指導主事 久保管理指導主事 小田原学校教育係長 岩渕教育総務係長 和田主任

会議概要：

1. 開会

15人の委員からの出席をもって、「小千谷市立小中学校の在り方検討委員会設置要綱」第6条に基づき、会議の成立を報告。

2. 学校視察

東山小学校 富樫教頭より東山小学校を案内いただき、子どもたちの様子等を視察。

3. 委員長挨拶

4. 議事

1. 第3回検討委員会の振り返り
2. 東山小学校について（知野校長より学校経営・学校事情について説明）
3. 小千谷市における適正な学校規模について
4. 今後のスケジュールについて

5. その他

6. 閉会

発 言 者	内 容
遠藤委員長	・前回に続き、適正な学校規模を考えていくために、各委員から話題を提供いただきたい。 (学校代表委員から学校が果たすべき役割について)
菊地委員	・自立する力を育てること。小学校は、地域で生きる多様な人と関わり、人と関わることのよさを知り、他者への信頼感を基盤に、自分自身への信頼感を育む場である。 ・小学校は、自己への信頼感、自分は大丈夫だという原体験を重ねる場である。 ・教職員は子どもたちが様々な子どもと関わることで、他者と折り合いをつけ、自己肯定感を高められるよう努めている。
山崎副委員長	・小学校では、総合的な学習の時間に地域の伝統芸能について学んでいるが、統合後は学区が広がるため、伝統芸能を学べなくなったという学校がある。 (教育委員会から小千谷市の教育方針について)
小林管理指導主事	・同年代の子どもたちで集団を形成し学び合いながら深めていき、子どもたちの健全育成、自立を促すことが学校の役割。 ・「おちやっ子教育プラン」で示している「自ら考え心豊かにたくましく生きる小千谷の子ども」を目指し、各学校が限られた教育資源を活用して、教育活動を展開している。 ・教員がおろそかにできないものが「確かな学力」である。対面で教員が学ばせ方を試行錯誤しながら、子どもたちに各教科の特性に応じた学び方を学ばせることが重要。意見を深め合いながら学習を進めていくには、ある程度の人数を想定している。
久保管理指導主事	・へき地や中山間地域といった子どもたちを育む様々な環境条件によって、学校の適正規模は変わってくる。
木原委員	・教育委員会として小千谷市の子どもたちの学力をどこまで上げたいかといった目標はあるか。
小林管理指導主事	・具体的な詳細を定めていないが、新潟県全体の平均数値と同等の数値を目標としている。
木原委員	・教育委員会として学力を上げるためにどのような方向性を学校に示しているかが、今後学校の規模を検討することに繋がると考える。 (小千谷市の学力についての議論)
遠藤委員長	・学力だけでは生き残れない時代になっている。意欲・向上心・我慢強さといったような非認知能力をどう育成するかが重要。学び自体が知識の獲得と

	いう意味ではなく、探究する行為となりつつある。 (これまでの議論を振り返っての意見)
和田委員	・非認知能力とも繋がるが、生きる力・やりきる力を育み、自分で行動する力を身に付ければ、自分から学習するため、小学校での学力は最優先に考えなくてよいのではないか。
鈴木委員	・これまでの検討委員会で1学年 100 人程度が適正な規模であり、2～3クラスあればクラス替えができ、教職員数も増えるという話があった。長期的なスパンで考えると、最終的に学校数を小学校は3～4校、中学校は2～3校くらいに集約せざるを得ないのではないか。 ・小規模校を残したいという地域の意見は分かるが、例えば小規模特認校を設置し、市内のどこからでも通えるとした場合、元の学校のよさや雰囲気を保っていくことは難しいと考える。
関昌子委員	・人数が1桁という学年を持つ小学校が半数あり、今後の子どもの減り方も急である。子どもにとってそれがよいことなのかということを考えたが、やはりある程度の人数が必要である。また、学ぶ意欲が高められるよう施設の整備も考えないといけない。 ・ある程度の人数がいるのであれば、小学校は地域の誇りとして可能な範囲で残していけばよい。中学校は今後どうしていくか考えていかないと厳しい。
船岡委員	・人数や学校数を含め、小千谷市としての在るべき姿を考えていかないといけない。
遠藤委員長	・学区の見直しも含めて検討する必要がある。 (第5回小千谷市立小中学校の在り方検討委員会について) ・第5回検討委員会は、6月27日(金)9:30より、小千谷中学校にて開催することを確認。

上記委員会の次第を記載し、その相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和7年6月27日

小千谷市立小中学校の在り方検討委員会

委員長